

秋田市の先人たち

海岸砂防造林の貢献者

栗田定之丞

明和四（一七六七）年生

文政十（一八二七）年没

中亀ノ丁町（榎山南中町）生まれ



主な事蹟

江戸時代後期の武士。秋田藩の海岸沿いに住む人々は、海岸からの飛砂ひさによって田畑や家屋が押しつぶされ苦しんでいた。栗田は、地域の村人とともに、山本郡、秋田郡、河辺郡の海岸部に松苗数百万本を植林し、苦労の末、美しい砂防林を造った。その功績を語り継ぐため、新屋の人々は栗田神社を建立した。